

1 事業概要

事務事業名		体育施設整備事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	343	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	単年度	
				開始	S36	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画			教育振興基本計画				
				スポーツ推進計画				
法令・例規等								
事業目的	対象	施設数：（施設44）						
	意図	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。						

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・社会体育施設（体育館、武道館、弓道場、運動場、野球場、アクアパーク、市民プール、B&G海洋センター、テニスコート、研修センター等）の改善・改修、備品の修繕、設置等を実施しました。 ・主要な体育施設である上郷体育館女子トイレの洋式化、バレーボール支柱用床金具の設置等を実施しました。		流水ポンプ配管水漏れ工事				1,296	
			体育館床部分補修工事				692	
			体育施設トイレリメイク事業				1,793	
			今宮球場外壁撤去フェンス設置工事				1,188	
			上郷体育館 床金具設置工事				497	
			その他の経費				3,632	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0	0	0			
30年度 決算 (千円)	予算額	9,469	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	9,098						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	9,098							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	11	3	9,469	9,098	体育施設改修費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	老化化により改修・修繕を必要とするものが多くなっています。
上記の課題解決のための有効策	緊急性・安全性を考慮しつつ計画的な整備が必要です。公共施設マネジメントの考えに沿って将来的な社会体育施設の在り方について検討する必要があります。
次年度に向けての取り組み	緊急性・安全性を考慮して計画的な整備を進めます。あわせて公共施設マネジメントの考えに沿って、南信州広域連合のアーリーナの取組の議論を踏まえ将来的な社会体育施設の在り方について検討します。